

議会審議をピックアップ！

●筆の里工房、西部地域健康センターの指定管理者を指定

『筆の里工房』

指定管理者は財団法人筆の里振興事業団で、期間は平成21年4月1日から平成26年3月31日まで。

『西部地域健康センター』

指定管理者はNPO法人熊野人材センターで、期間は平成21年4月1日から平成24年3月31日まで。



▲西部地域健康センター



▲筆の里工房（坂面大池側写真）

委員長報告

●継続審査となっていた「町道の路線認定」を可決

平成20年12月定例会で産業建設委員会に審査が付託された路線認定案件（城之堀団地1号線・2号線）について、原案のとおり可決することとする委員長報告が行われた。

採決の結果、賛成多数（賛成11 反対2 棄権1）で可決した。

発議

●法務局海田出張所の廃止統合計画に反対する意見書を全会一致で可決

国の計画により、平成22年3月末頃を目処に本局への統合が予定されている広島法務局海田出張所について、地域住民の利便性が著しく損なわれるため、その廃止統合計画に反対する意見書を、関係機関等へ送付した。



●熊野町行政サービス調査等特別委員会を設置

限られた財源の中で、住民に対する行政サービスの向上等に関する調査研究を行っていく。

委員長 山吹 富邦
副委員長 久保隅逸郎

●議員定数削減の条例案を否決

議員発議により、議員定数を現在の「16人」から「14人」とする議員定数条例の一部を改正する条例案が提出された。

反対討論では、「すぐに実行可能な議員報酬の減額をするべき」などの意見があった。

採決の結果、賛成7人、反対7人の可否同数となったため、地方自治法第116条第1項の規定により、議長は「否決」と裁決した。

補正予算

○一般会計

歳入歳出予算の総額に、2億2千546万6千円を追加。

○国民健康保険事業特別会計

歳入歳出予算の総額から2億4千917万8千円を減額。

○老人保健医療特別会計

歳入歳出予算の総額から1千527万9千円を減額。

○公共下水道事業特別会計

歳入歳出予算の総額から4千534万1千円を減額。

○後期高齢者医療特別会計

歳入歳出予算の総額から2千796万4千円を減額。

○介護保険特別会計

・保険事業勘定の歳入歳出予算の総額から3千65万9千円を減額。

・介護サービス事業勘定の歳入歳出予算の総額から48万5千円を減額。

○上水道事業会計

・収益的収入の既決予定額から205万1千円を減額。

・収益的支出の既決予定額から1千29万9千円を減額。

・資本的収入の既決予定額から218万7千円を減額。

・資本的支出の既決予定額に162万1千円を追加。

補正予算質疑

Q 定額給付金のスケジュールは？

A 3月下旬に発送。銀行振込みのための処理に1カ月程度を見込んでおり、4月最初に申請された方は、4月下旬に振込む予定。

Q 農林水産業費の減額等について

A 熊野北農道整備のための土地の取得に時間がかかったことにより、工事は次年度に送るため。

人事

○教育委員会委員の任命に同意

大竹 美枝子氏（柿迫）